

## 第183回（臨時）代議員会議事録

第183回（臨時）代議員会が、平成31年3月16日（土）14時30分より、愛知県名古屋市  
中区栄四丁目14番28号、愛知県医師会館9階大講堂において開催され、17時00分閉会した。

代議員総数	181名	出席代議員の数	173名
議決権の総数	181個	出席した代議員の議決権の数	173個

議長 服部達哉  
副議長 山本楯、伊藤宣夫

出席理事 柵木充明、城義政、市川朝洋、杉田洋一、  
伊藤健一、加藤雅通、大輪芳裕、西山朗、  
檜尾富二、樋口俊寛、瀬瀬雅明、細川秀一、  
野田正治、林義久、浅井清和、田那村收、  
小出詠子、渡邊源市

欠席者 湯澤由紀夫  
監事 川上雅正、野口良樹、横井隆

議事録作成者 加藤結花

### 開 会

定刻に至り、公益社団法人愛知県医師会代議員会議事規則（以下、代議員会議事規則とする。）  
第1条第2項に則り、総代議員の過半数に相当する代議員の出席（181名）が確認され、服部  
達哉議長は代議員会議事規則第7条第1項に則り開議を宣言した。

#### 【 議事録署名人の指名 】

議事録署名人については、代議員会議事規則第66条に則り、議長が以下の2名の代議員を  
指名した。

議席番号 25番 大橋文隆（名古屋市千種区）  
議席番号 102番 佐橋 渡（西名古屋）

### 補 欠 選 挙

服部達哉議長より、愛知県医師会裁定委員の尾張地区、大学医師会各1名の欠員により、補  
欠選挙を行うこと、また、選挙の進行は選挙管理委員会が行うことを説明され、選挙管理委  
員会の中川正美委員長による選挙が行われた。

愛知県医師会裁定委員補欠選挙について、中川正美選挙管理委員会委員長は、各1名に対し  
候補者各1名で定数を超えていないため、公益社団法人愛知県医師会選挙規則第41条によ  
り、投票に依らず届け出候補者を当選人とすることを決定し、服部達哉議長に報告した。こ  
れを受け、服部達哉議長は尾張地区、大学医師会それぞれの当選人の選出決議を行い、出席  
代議員の過半数を超える賛成の挙手を得たことを確認し、当選人2名の愛知県医師会裁定委  
員の選出が決議された。

➤ 愛知県医師会裁定委員

(尾張地区) 山本 武司  
(大学医師会) 篠邊 龍二郎

服部達哉議長は、中川正美選挙管理委員会委員長への謝辞を述べられ、選挙管理委員会委員長は退場した。

報 告

公益社団法人 愛知県医師会定款第56条第2項の規定により、(1)は総務担当市川副会長、(2)は会計担当西山理事より報告がなされた。

(1) 平成31年度事業計画報告

市川副会長より、平成31年度の事業計画の内容について、基本的には、従来からの事業を継続していくと報告された。若干の文言の修正、追加等による番号変更の他、追加項目として、「3. 医師の生涯教育」の中に、“日医かかりつけ医機能研修制度に関する事項”及び“日本専門医機構専門医共通講習に関する事項”を追加。「6. 地域医療の推進発展」の中に“地域医療構想の推進に関する事項”、また、オリンピック開催により、これまで以上に訪日外国人の増加が想定され“外国人医療対策”を追加。「13. 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 ②IT化対策に関する事項」の中の“災害時安否確認システムの運営・推進を”「7. 救急医療・災害医療対策」の中に移し“愛知県医師会緊急確認システム(AKKシステム)の運営管理”に文言変更して追加したこと等を挙げられた。また、岡崎市医師会の小原 淳代議員より、事前に下記の質問が提出されている。

(平成31年度事業計画は、平成31年2月14日開催の定例理事会において承認)

質 問

救急医療・災害医療対策について

議席番号166番 小原 淳代議員より、平成31年度事業計画の中にある「救急医療・災害医療対策 ②大規模災害発生時における応需体制の整備及び災害救助法発令時の対応」について、現在、大規模災害時の保健医療活動に係る体制の改正が県の医務課で進められており、岡崎市医師会にも状況説明されるとの連絡があった。改正に伴う問題点としては、災害医療圏を新設し、2次医療圏とは別の医療圏で医療対策を行い、ほぼ決定事項とのことである。岡崎市医師会としては非常に混乱している状況であり、県医師会と県の医務課でどのような話し合いが行われ、方向性が出されているかとの質問がなされた。

救急医療・災害医療担当の細川理事より、1月31日に県医務課の担当者が来館され、“地域災害医療対策会議の所管区域の見直しについて”という資料に沿って、現状の問題点、基本的な考え方等についての説明があった。また、今後、災害医療関係の会議、地域災害医療対策会議部会で検討し、順次進めていきたいとの説明を受けたのみである。

岡崎市医師会所属の国会救急委員会委員より本件について確認があり、3月5日の救急委員会にて、議題として取り上げ、各圏域の対応について意見交換を行った。

以上のとおり、事前に医務課との間は説明のみであったと認識しており、具体的な話し合い、方針を決めたということは一切ないと説明され、本会の災害医療活動マニュアルの件については修正が必要であれば検討していきたいと結ばれた。

(2) 平成31年度予算報告

会計担当西山理事より、平成31年度予算について、平成31年2月14日開催の定例理事会において慎重協議の上承認されていることを報告し、資料により説明報告がなされ、特に質疑は出されなかった。

## 議 事

第1号議案 平成31年度会費の賦課徴収に関する件

第2号議案 平成31年度会費減免申請に関する件

第3号議案 平成31年度入会金の賦課徴収に関する件

服部達哉議長の宣言により、第1号議案から第3号議案まで一括上程され、会計担当西山理事より説明がなされた。

第1号議案及び第3号議案は、例年通りであり、第2号議案については、平成27年度より日本医師会が研修医の会費減免を実施していることを受け、本会も平成28年度より研修医会員に対し、会費減免の対象とした経緯があるが、現時点では研修医会員の減免の一覧が未作成であるため、日本医師会に申請する時期に合わせ、申請者一覧を作成し、理事会承認を得て減免措置を実施する。

第1号議案から第3号議案まで特に質疑は出されず、服部達哉議長は議場に諮り、過半数に達する賛成多数の挙手を得たことを確認し、原案どおり決議した。

第4号議案 公益社団法人愛知県医師会選挙規則の一部改正に関し承認を求めるの件

続いて服部達哉議長より、第4号議案が上程され、総務担当樫尾理事より、改正点である第5章第18条第4項の一部改正について説明がなされた。藤田保健衛生大学の校名変更に伴う医師会名の変更により、文言修正を行ったものである。

特に質疑は出されず、服部達哉議長より本議案の承認について議場に諮ったところ、過半数に達する賛成多数の挙手を得たことを確認し、決議した。

◇ 改正点 第5章第18条第4項

<現 行>

- 4 前項の大学医師会とは、名古屋大学医師会、名古屋市立大学医師会、藤田保健衛生大学医師会、愛知医科大学医師会をいう。

<改正後>

- 4 前項の大学医師会とは、名古屋大学医師会、名古屋市立大学医師会、藤田医科大学医師会、愛知医科大学医師会をいう。

以上、議事の経過の要領及びその結果を明確にするために本議事録を作成し、代議員会議事規則第66条に則り、議長及び議長が指名した2名の代議員（議事録署名人）が記名押印する。

議 長 服部達哉

議事録署名人 大橋文隆

議事録署名人 佐橋渡